



浦添大公園

ニュースレター
うらしー
2021年9月号



利用者の皆様へ

来園する際には新型コロナウイルス感染症対策をお願いします。

公園の自然

クチナシの話

クチナシは公園全域に数多く生育しているので、見つけやすく観察するのに最適な樹木です。特性、利用、まつわるエピソードについて紹介します。

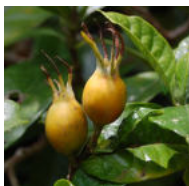
クチナシ *Gardenia jasminoides*

アカネ科 分布: 静岡～南西諸島、中国、台湾、インド
方言名: カジマヤー (首里)、ウチナギ (宮古)

英名: Common Gardenia、Cape Jasmine 中国名: 梔子

特性

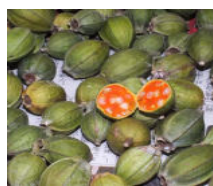
高さ2～5mに成長する常緑の低木または小高木。葉は楕円形で緑が濃い。花は枝先に無数に咲き、白色で散り際に黄色になります。夕方から朝方にかけてあたり一面ジャスミンの香りを放ちます。花の形が風車に似ているので、カジマヤー(風車)と呼ばれていて、生活に身近な樹木の一つです。



熟実



中味



乾燥中



クチナシ染ご飯

利用

樹形が良く、花の香りもよいので庭や防風のための屋敷林に植えられてきました。果実は晩秋に橙黄色に熟します。橙黄色の色は、染色(カロチノイド系色素)で日食品、葉子の染色、布地の染色に使われます。また、薬用にも使われていたとのこと。

晩秋に採取した実は、干して乾燥させて保管しながら利用します。ご飯に色をつけるときは好みにもよりますが、実の半分から1個を炊くときにいれます。黄色いご飯が炊けます。布を黄色に染めることもできます。

繁殖

繁殖は、実生と挿し木で行います。種子は10～12月に採取し、とりまきします。移植は4～5月または梅雨時期が良く、肥沃な土壌を好みます。



オオスカシバの幼虫



イワカワシジミ
の幼虫が潜む果実



成虫

♂の翅表

昆虫たち

時々、葉を食べるオオスカシバの幼虫がつき、丸坊主になることがあります。クチナシは性質が強いので、すぐに新芽をだし、回復します。実はシジミチョウ科イワカワシジミの幼虫が食べます。日本では奄美以南にしかいない、翅の裏が緑色の美しい森林性の蝶です。

琉歌

宜野湾王子朝祥 琉歌(相聞歌)

思い身に あまて言ちや 尽さらぬ あはれくちなしの 花に向かて

家庭療治妙薬いろは歌 具志川市史

へ 平常に肘量の繁くある人 山梔子の実を黒焼きにして飲むべし

イベント情報

樹木自然観察会

■日時: 9月18日(土) 9:30～11:00

■場所: 浦添大公園(遊び広場駐車場集合)
定員10人

※定員に達し次第締め切ります。

料 金: 1000円(資料費込み)

参加申し込み先: 浦添大公園管理事務所 098-873-0700



浦添大公園ニュースレター うらしー 2021年9月号

浦添大公園管理事務所 〒901-2132 沖縄県浦添市仲間2-53

TEL(098)873-0700 FAX(098)873-0714 <https://urasoedapark-osi.jp>

指定管理者 おきなわスポーツイノベーション協会 編集・発行: 比嘉正一

